

Step 3 各教科の目標及び内容の調整・見直し

まずは、年間指導計画等に示されている【各教科の目標及び内容】に迫る授業を、児童生徒の実態に応じて考えます。【各教科の目標及び内容】をそのまま取り扱うことが難しい場合には、学習指導要領を参照し、実態に合った【各教科の目標及び内容】に調整・見直しをしていきます。

※調整・見直しの留意点については「**参照**各教科の目標及び内容の段階の調整・見直しの留意点」P2—10, 11をご覧ください。

調整・見直し前の年間指導計画		Step 1
年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？		
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生涯単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年	
【単元(題材)の目標】 ・買物学習を通して、商品の買い方や運び方を理解して買物ができる。【知識及び技能】 ・買物に関わる人に関わるように表現を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・買物学習に意欲を持って取組み、学習に活用しようとする。【学びに向かう力、人間性等】		
【単元(題材)の計画】		
【時数】	【主な学習活動(指導内容・方法)】	【指導体制】
1時間	1.オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導
2時間	2.買物の準備 ・生活に必要な物の選び方、買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導
3時間	3.買物(当日)	一斉指導
1時間	4.振り返り	一斉指導
	Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？	
	Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？	
		【各教科の目標及び内容】 職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) 国語A聞くこと・話すことエ(小学部2段階)

Step 3 各教科の目標及び内容の調整・見直し

📎【各教科の目標及び内容】(育成を目指す資質・能力)を記入しましょう。「教科別の指導」の場合、児童生徒の実態に合った「段階」に調整・見直しをし、記入します。「各教科等を合わせた指導」の場合には教科、段階を見直し、記入します。

学習活動(指導内容・方法)設定シート	【単元(題材)名】	【学部・学年】	【時数】
職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア)(中学部1段階)	買物に行こう	中学部2学年	7時間
国語A聞くこと・話すことエ(小学部2段階)			

【各教科の目標及び内容】

職業・家庭(家庭分野)
C消費生活・環境ア(ア)
(中学部1段階)
国語A聞くこと・話すこと
エ(小学部2段階)

調整・見直し

氏名



【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力)

・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア)
(中学部1段階)
・国語A聞くこと・話すことエ
(小学部2段階)※段階を調整・見直し

※各教科の目標及び内容は、学習指導要領を参照してください。

